

公益社団法人 茨城県作業療法士会
平成 30 年度 第 2 回常任理事会 議事録

日時：平成 30 年 9 月 14 日（金） 19：30～21：30

場所：日本赤十字社水戸赤十字病院作業療法室（水戸市三の丸 3 丁目 12 番 48 号）

出席：（理事）大場、角田、寺門、小森、笥、荒井、磯、宇都木、武士、細田

欠席：大内

書記：開江（総務副部長）

【 I 審議事項】

1. 主催研修会受付体制のマニュアル化について →承認 （寛教育学術局長）
 - ・ 8/26 の現職者共通研修会において、参加費未徴収が 1 件発生。再発防止策の策定が必要と考え主催研修会受付のあり方について、マニュアル化を図り、各部局に周知していく。
 - ・ 現在の主催研修会受付の現状から問題点を洗い出し、改善策を盛り込んだマニュアル原案を作成。資料提示の上、内容について審議が行われた。
 - ・ 受付対応人数について、スタッフ 3 名で対応したが受付以外にも講師の対応も必要なため、人員を増やす必要がある。一人一業務であたれるよう、スタッフの人員について考慮して実施していく。
 - ・ 年度初めの新入会員の受講者が多い研修会では、生涯教育手帳の氏名の掲載漏れが多い。何を提出するか把握できていない受講者もいた。受付係の他に誘導係の配置も必要。誘導係の導入により受付作業がスムーズに運ぶと考えられる。
 - ・ 限られた時間の中で受付業務を行うため、年会費の未納入者、受講カード忘れ、受講カードが発行されていない等イレギュラー対応が困難であった。事前登録制を検討し、新入会員については入会手続き中でも事前登録が行えるようにシステムを変更、案内にも明記する。また、年会費未納入者等のイレギュラー対応については、講義間や昼休みに個別で対応していく。
 - ・ ネームカードを作成して（出席者本人に記載してもらう）受講中は首から下げる。イレギュラーな出席者を確認しやすいようにする。
 - ・ 受付開始時間、終了時間を明確にして実施する。実施におけるフローと受付の段取りがわかるようにしておく。
 - ・ 開催施設によっては開館時間により開始時刻が遅れてしまうことも考えられるため、あらかじめ開始時間を考慮して受講時間を調整する必要がある。
2. 障害福祉領域事業所の OT 在籍マップの作成について →継続審議、担当部局へ差し戻し （細田イキイキ地域づくり事業部長）
 - ・ 現在、障害福祉領域の OT 同士のネットワークがうまく構築されていない状況。障害福祉領域での OT のニーズを鑑みて、茨城県内の障害福祉領域の事業所に OT が在籍していることが一目で分かるよう事業所マップを作成する。
 - ・ マップに掲載する事業所の業態（障害児通所支援、就労継続支援、就労移行支援、自立訓練など）やマップの活用方法（OT 士会の HP 掲載、紙媒体で障害者相談支援センターへ配布）について審議が行われた。
 - ・ 障害福祉領域の事業所としては、市町村単位で把握はされている。どこの事業所にどのような専門職がいるかの詳細まではわからない状況。同意が得られた事業所に関しては OT が在籍している事業所として hp 等へ掲載することも可能ではあるが、県が主体で実施する内容でもあり、県士会主体で実施していくことについては現段階では難しいと思われる。
 - ・ 当面の目的としては、見える化と OT 同士が繋がりを持つことと考えており、最終的には相談役割も担っていければと考えている。
 - ・ 現段階で県士会としては情報を集めることを最優先とし、各事業所の横のつながりをもった上で次第にオープンにしていく。また人員の移動は起こりうることであり定期的なアップデートをして運用していく必要がある。
 - ・ 大まかなフローを作成したうえで再審議を行う。

3. 模擬ケア会議について →継続審議 (細田イキイキ地域づくり事業部長)
- ・医療介護総合確保基金で、模擬地域ケア会議の開催に関する予算を申請した。結果的に予算は通らなかったが、担当者より模擬地域ケア会議の研修を行う場合には、講師として協力することが出来るとの返答があった。県士会員のみだけでなく多職種が参加した形で研修会の開催を行ってはどうか、という提案のもと内容について審議が行われた。
 - ・現段階では、模擬地域ケア会議の研修会を継続し質を向上していく必要がある。OTとしての専門性を生かして地域ケア会議に出席していけるように質を担保していく必要があり、将来的に多職種での連携をしていけるようにしていく。
 - ・県の方には、上記説明をし、後々に講師依頼をさせて頂く旨をお話し、継続してお付き合いいただくように返答する。
4. 会員シール・会員カードについて →承認 (磯庶務部長)
- ・会員シール・会員カードの作成については、会員リスト作成時に新規と在籍会員を分ける必要があり、会費納入後の発注作業や封入作業が煩雑となっている。さらに会員施設での配布時にシールが小さく紛失の恐れもある状況となっている。より単純明確になるよう2019年度からは会員シールを廃止し、1年限りの会員証に戻すことが提案され、内容について審議が行われた。
 - ・1年限りの会員証に戻すことの利点としては、会員リスト作成時に新規と在籍会員を分ける必要性がなくなるため、封入作業の誤りが軽減され手間も減る。問題点としては、シールより単価が20円程高くなる(現在の単価：シール20円、カード40円)。総額で20000円程。
 - ・カードだけの場合、事前に発注することが可能なため6月下旬には発送が可能となる。エラーの減少と作業内容としても簡略されることが優先と考えられ、会員カードへと変更していく方向で承認された。

【Ⅱ 報告・連絡事項】

1. いきいき茨城ゆめ大会の進捗状況について (荒井総務部長)
- 1) 第18回全国障害者スポーツ(福井しあわせ元気大会)参加資格審査への視察及び実務研修への参加
- ・平成30年7月14日、15日福井県宝永分庁舎にて行われた第18回全国障害者スポーツ大会(福井しあわせ元気大会)参加資格審査への視察及び実務研修へ荒井理事が参加。
 - ・福井県の審査員が10名。視察員として茨城県5名(理学療法士2名、作業療法士1名、事務局員2名)、鹿児島県4名(理学療法士2名、事務局員2名)、三重県1名(事務局員1名)が参加。3グループに分かれ567件(陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球に参加する者で肢体不自由者)の資格審査を実施した。
 - ・茨城県でもう一度、12月あたりに資格審査担当者に対する研修会の実施を検討すること。
 - ・つくば国際大学永井先生より、派遣選手団の練習会の情報をいただき練習会への見学を実施している。
- 2) コンディショニンググループ運営準備の進捗状況報告
- ①第1回障スポコンディショニンググループ運営検討部会について
- ・平成30年6月7日、茨城県県南生涯学習センター中講座室にて第1回障スポコンディショニンググループ運営検討部会が開催された。
 - ・和田野安良部会長をはじめ、茨城県アスレティックトレーナー協議会(IBAT)、一般社団法人茨城県鍼灸師会、公益社団法人茨城県柔道整復師会、公益社団法人茨城県鍼灸マッサージ師会、公益社団法人茨城県理学療法士会、公益社団法人茨城県作業療法士会、事務局(茨城県国体・障害者スポーツ大会局)、以上各団体より計10名が出席。当士会からは柘植理事が出席した。
 - ・検討事項としては、運営方法の詳細について、研修会の計画について、コンディショニンググループの担当会場の振り分けについて検討が行われた。
- ②第1回コンディショニンググループ運営検討会議について
- ・平成30年7月3日、茨城県水戸生涯学習センター中講義室にて第1回コンディショニンググループ運営検討会議が開催された。
 - ・茨城県アスレティックトレーナー協議会(IBAT)、一般社団法人茨城県鍼灸師会、公益社団法人茨城県柔道整復師会、公益社団法人茨城県鍼灸マッサージ師会、公益社団法人茨城県理学療法士会、公益

社団法人茨城県作業療法士会、事務局（茨城県国体・障害者スポーツ大会局）、以上各団体より計 14 名出席。当士会からは、荒井理事、柘植理事が出席した。

- ・検討事項としては、準備スケジュールについて、運営協力団体配置について、従事者必要見込み人数及び診察台設置予定数について、運営に係る調査の実施について、「福井しあわせ元気大会」の視察について検討が行われた。
- ・進捗状況としては、茨城県作業療法士会が担当する競技および会場が決定し、従事者募集人員についてもボランティア募集の旨をホームページ上に掲載済み（今後はメーリングリスト、郵送でも募集を予定している。定期郵送に同封していく。）

3) 今後の予定について

- ・今後の予定として直近では、10月13日、14日に福井大会コンディショニンググループを視察。10月以降に会場リーダー対象に研修会を開催の予定。視察後に再度報告の予定。以降も平成31年10月まで予定が組まれている。その都度報告の予定。
- ・いきいき茨城ゆめ大会については10月11日～14日の4日間に開催の予定。
- ・当士会のいきいき茨城ゆめ大会への進捗状況、障がい者スポーツへの取り組みを10月27日（土）の連盟主催の研修会にて報告予定。

2. 平成30年度事業計画の変更届けについて

（荒井法人対策委員長）

- ・県より平成29年度の事業報告の「認知力アッププログラム教材モデル事業」について、今後も同様の事業を行っていくのであれば、変更届が必要とのご指摘があった。
- ・公益法人として運営するにあたり、当士会で認められている公益目的事業内容と整合性が取れるよう県担当者と相談をしながら変更届を出していく方向で調整中。
- ・当士会として実施していきたい事を明確に伝えながら直接的に調整して実施していく。

3. 平成30年度第1回茨城県高次脳機能障害支援ネットワーク会議について

（寺門副会長）

- ・平成30年度8月31日（金）に開催された平成30年度第1回茨城県高次脳機能障害支援ネットワーク会議について、出席した寺門副会長より報告があった。

1) 茨城県高次脳機能障害支援センターの活動について

- ・本年度より県立医療大学構内に高次脳機能障害支援センターが開設。作業療法士が集まっておらず募集中の状況。
- ・茨城県高次脳機能障害支援センターの活動としては、①相談技術支援②普及啓発③人材育成④支援ネットワーク構築の4点となる。

2) 高次脳機能障害支援協力モデル事業について

- ・県南の病院として筑波記念病院、県北の病院として志村大宮病院の県内2病院が委託事業者となり高次脳機能障害支援協力病院モデル事業を展開する。
- ・目的としては、高次脳機能障害者を支援するため、病院内に支援コーディネーターを配置し、相談支援事業、フォローアップ事業、研修開催等を実施し、地域における連携拠点となり支援ネットワーク構築を行っていく。
- ・アンケートを実施する中で今後のネットワーク形成について、退院後の利用できるサービスに関して情報不足を感じる。高次脳機能障害者への対応に不足を感じているが支援拠点につながらないとの声が聴かれている。
- ・対応として、高次脳機能障害支援協力病院を主とした医療機関との関係を密にとる。モバイル型支援の活動を行う。支援拠点の活動内容について周知を図る。以上実施していく。

4. 第14回市民公開講座について

（寺門地域貢献局長）

- ・タイトルは「おもちゃで遊ぼう！」講師は鷺田孝保先生に依頼。
- ・日程は平成30年11月10日（土）10:00～11:30（受付開始9:30）
- ・参加費は無料。定員20組。
- ・対象是那珂市内にお住まいの親子としているが、対象を那珂市在住と設けてしまっていて公益事業として問題がないか確認する。対象地域を限定しても公益事業として成り立つことが確認されれば現状の内容で開催。問題が生じるとされた場合は対象者をオープンとなるよう調整して開催。

5. 第 11 回茨城県作業療法学会進捗状況について (宇都木学会部長)

- ・演題募集期間 2018 年 7 月 16 日 (月) ~ 9 月 30 日 (日) 査読は順次実施していく。
- ・本年度、モーニングセミナーは実施しない。機関紙にもしっかりと掲載していく。
- ・演題発表について、本年度も優秀演題を決定する。優秀演題についてはブロック大会 (新潟) への登録参加を推進していく。県士会の推薦として参加していただきブロック大会への参加奨励金についても今後検討をする。優秀演題のブロック大会参加については案内にも記載していく。
- ・中堅者発表の演者依頼は実行委員会からも行っている。
- ・名義後援申請についても近日発送予定。
- ・ポスターは 9 月中旬に完成予定であり定期郵送に乗せて発送するか、単体での発送とするか完成に合わせて調整し行う。
- ・機関誌については、10 月中旬に現行完成し、11 月上旬に入稿、12 月上旬に発送を目標としている。印刷業者は 2 業者に見積もりをだしてもらい選定をかけていく。
- ・機関誌中の演題発表のページに関しては、2 段組で縦に掲載した方が見やすいのではない、との意見もあり、本年度より掲載方法を変更していく。
- ・広告依頼については、幸和義肢研究所、茨城トヨペット、ロングライフ、シーティング工房、TB ファクトリーの企業に加え、実行委員会の所属先と周辺施設へと広告掲載依頼をしている。
- ・本年度より、出展料を頂いて出展して頂いている企業に対してプレゼン時間を各 5 分程度で設けていく。プレゼンの行い方については、実施場所を分けて実施することや時間を分けて待機時間に CM 方式で実施してもらう等検討し時間を作っていく。
- ・出展ブースに試食の提供をして頂けるか依頼中。
- ・営利活動となる軽食の販売は開催場所である医療大学で禁止されているため、ランチョンセミナーの軽食を県士会買い取りで用意の予定。見積もりについては確認中。
- ・当日のお菓子類の配布についても検討中。
- ・講師の公文書発送は済んでおり、抄録の締め切りは 10 月 31 日 (水) に設けている。
- ・当事者作品展、自助具アクティビティーコンテスト、写真展については、本年度も実施の予定で 9 月 3 日より募集を開始している。当日はプレゼンを含めて開催し、表彰も行っていく。
- ・その他、本年度よりツイッターを使用する。経過と当日の様子をツイートする予定となっている。

6. 次回、第 3 回常任理事会について (荒井総務部長)

平成 30 年度 11 月 11 日 (日) 10 : 00 ~ 予定

第 11 回茨城県作業療法学会進捗状況、平成 31 年度予算案等